

愛川町議会
観光・産業連携拠点づくり事業
議会検討会会議録

令和2年3月10日（火）

○井出会長 それでは、皆さん、改めましてこんにちは。

今日、議会のほうが午前中で、今終わりましたので、これからご議論願います。

3月は旅立ちの月ということで、各地で卒業式等も行われるはずだったんですけども、やっておりますけれども、我々は参加しないということで、今起こっていることは変えられませんけれども、こういった何も我々ができないときに何をするかというのも逆に大事になってくるかなということで、これから真摯にしっかりとやっていきたいと思っております。

それでは、議長、お見えですのであいさつをお願いいたします。

○馬場議長 皆さん、ご苦労さまです。

今回はちょっとイレギュラーな対応になってしまいましたけれども、我々がすることはしっかりと予算を審議していくということでございますので、そのほかの今起こっていることの内容は、その専門家等に任せて、いつ終息するかまるっきり分からない面がありますので、皆さんも自分自身気をつけていただいて、3月議会を乗り切っていただきたいと思っております。

今日も大変重要な会議でございますので、よろしくお願いをいたしまして、挨拶といたします。お願いします。

午前 11時26分 開会

○井出会長 ただいまから観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会を開会いたします。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりでありますから、ご承知願います。

議 題

(1) 日程第1 観光・産業連携拠点づくり事業について

○井出会長 これより日程に入ります。

日程第1、観光・産業連携拠点づくり事業についてを議題といたします。

前回の検討会における意見等を取りまとめ、皆様のお手元に町に対する検討会の回答案を策定しましたので、事務局に説明をしてもらいたいと思っております。

○中山議会事務局長 それでは、皆様のお手元に配付いたしました観光・産業連携拠点づくり事業基本計画の見直し案について（報告）という資料をご覧いただきたいと思っております。

今回、この報告書につきましては、前回の会議におきまして、正副会長一任ということでいただいたもので、そこで正副会長とともに作成したものです。

ここでちょっと朗読をさせていただきます。

その前に、裏面をご覧いただきたいと思っております。

観光・産業連携拠点づくり事業基本計画見直し案に対する意見ということで、これ前半につきましては、これまでの議会の成果を2回にわたって検討会を開いて、意見、提言書を出してきて、見直しをしてきた、その議会としての成果を前半に。そして、後半につきましては、議会としてはこれで大筋合意をしたわけではないので、引き続き議会と積極的に対話を望むということと、住民との意見説明会の開催、または意見交換会を開催して、観光・産業活性化の拠点づくりを進めていってくださいというような内容になっています。それでは、朗読させていただきます。

観光・産業連携拠点づくり事業基本計画見直し案に対する意見。

令和元年12月に報告のありました「観光・産業連携拠点づくり事業内容等の見直し（中間報告）」については、これまでの議会検討会における意見・提言により、近隣施設と類似した伝統技術体験交流館等の整備をしないことや、リバーサイドハウスやグランピング施設等を整備し、利用者のニーズと収益構造を考慮した計画とするなど、事業内容や規模を見直し、整備事業費が大幅に縮減された町の対応は、議会の声を真摯に受け止めたものと評価します。

今後については、整備手法や運営方法により、施設整備費及び維持管理費が大きく変動することは予想されることから、引き続き、議会との積極的な対話を望むとともに、議会、住民及び団体等との合意形成を図るため、積極的な住民説明会の開催や意見交換会等を行うなど、町全体へ波及する「観光・産業活性化」の拠点づくりに向けた取り組みを推進していくよう要望します。

以上です。

○井出会長 今、事務局のほうで読み上げてもらいました見直しの案ということで作成してまいりました。

ちょっと時間を置いたほうがいいですか、大丈夫ですか。皆さんのほうから何かご意見あったらお願いしたいと思います。

渡辺議員。

○渡辺議員 我々の会派、あいかわの聲で先日見解を出させていただいて、読み上げさせていただいて、井出会長にもお渡してあって、各会派からの見解をまとめたのがこれですね。我々の会派の中の文言の中に、議会の大筋合意がなくても開催していいよと、その文言はあえて外したわけですね。正副会長、正副議長、4人で話し合ったということ。正副会長だけ。

○井出会長 正副会長と事務局。

○渡辺議員 議会の大筋合意を削除したという、なぜか教えてほしいんです。

○井出会長 要は、さっき説明があったとおり、こちらの内容については、前半の部分というのが、今までの町で行った見直しに対する評価というか、我々が意見、提言をしてやったことに対して、今までの基本計画を見直しをしてくれたということに対することにつ

いての評価をしますよということについての部分でまとめさせてもらって、後半については、今後どうしていくかということで、あえて今回の中間報告について、大筋で認めないということではなくて、今後こうしてくださいよということでまとめさせていただいて、ただこの意見を、合意形成を図るためということは、逆にご意見の中にあったことをあえてここに入れさせていただいて、合意形成を図るためということで、そのためにこれから事業は我々の意見を聞いていただいて、話し合っていきましょうよということでまとめさせていただいて、自発的に ということをあえて書かせていただいたということなんです。それについて、異議があれば、また言っていただければ。

○渡辺議員 町長はどうこれを読んで、受け止めるかですよね。議会のお墨つきを得ましたというふうに判断しちゃって、これから説明会に臨むかもしれないですね。それが一番大きいことなんです。どうかなと思って、大筋合意を認めないよなんて文書に入れないで、柔らかに正副会長から手渡すときに、口頭で説明していただく。それならそれで結構です。町長にはくれぐれも誤解のないように。これがということではないということをしっかり言うていただければ。

○井出会長 一応今の趣旨はしっかり受け止めさせていただいて、言ったときにはその旨は、皆さん大筋合意はできていなんだということについては、口頭でお話ししていこうとことで一応話し合っているんですけども、その辺、一応意見が出るか、聞いてからと思っていましたので。分かりました。

ほかにいかがですか。小さいことでいいですよ。この文言が気に入らないとか。

○茅議員 小さい文言じゃないんですけれども、この前一番自分もトップバッターで質問させていただいたことで、今、水源地跡地だけのことしか考えていないような形で、あそこをどうするか。やっぱり一番最終的なビジョンじゃないんですけれども、そういうのがなければ、あそこをどうするかというのは決められないと思うんですよね。そういったことに対して、一番下から2行目からの「町全体に波及する」というところで、「拠点づくりに向けた取り組み」となれば、一応そういう意味にはなるんでしょうけれども、やっぱり今後のしっかりしたビジョンがあって、それに対してどういうふうにアプローチしていくか。ここをつくると、こうなるから、こうなるんだよというのまで、ちゃんとした全体の取り組みまでをあるようにつくり込んでいただきたいなと思うから、そんなニュアンスになるといいなというふうに個人的に思います。

○井出会長 この文章の中で。

○茅議員 そうです。例えば、最後の2行目の拠点づくりと、また最終的にまたビジョンじゃないんですけれども、そういうものが愛川町にどういうふうに波及するかまでのことに向けた取り組みみたいな、そんな、うまく文章で言えないんですけれども、そんな取り組みまで入れてもらえるとよかったなという感じがします。

今、これだと、多分また前回みたいに、水源地跡地をこうしますだけしか話をしないよ

うな感じがするんですけども、そこまで、いろいろな人からの意見を聞いた中で、やっぱりそこだけじゃないんだよというふうな話を聞いていて、ここをつくると、こうなる、こうなるというふうに言うけれども、順番は逆で、やっぱり最終的なビジョンがあつてから、つくるために、こうつくるんですというふうにしていかなきゃいけないのかなと個人的に思うので、そんなところまでのアプローチの仕方までをちゃんとやっていきますよという文章があればいいなという、ちょっと付け加えるといいなというふうに個人的に思いました。

この文章でも分かることは分かるんですけども、言わないと分からないような、付け加えないと分からないような気がしたので、あったらもっといいなと思いました。

○井出会長 今、この中で、引き続き議会との積極的な対話、それから議会、町民、団体との合意形成のための積極的な説明会を開催するという、そういうことの中で進めてくださいよということで、まだこれから町の基本計画、このまま行くかどうかまだ分からない状況ですから、その中での説明会と思っていますので、積極的にやってくださいよという意味でのまとめ方なんですよね。ここにこうしてくださいよと具体的に書いていくことが果たしてできるかどうかということがまたあると思うんですけども、それはこの中でもう少し意見が出ればお話ができると思うんです。

今、茅議員からこういう意見が出ました。それも含めてどうですか。

○鈴木議員 委員長、副委員長、事務局もそれぞれ会派から持ち寄られた意見を最大限なんとかまとめようということで、ご苦労されたなというのがよくうかがえて、今、茅議員からも全体のビジョンからという話もありましたけれども、この2行のところで、町全体に波及するようにというこちらの思い、ここに書かれているので、それが先ほど私たちにそのことも一言付け加えて言うことも可能なのかなということで、僕はよくまとまって、これでいいのかなと。本当にご苦労さまでした。よろしいかと思います。

○井出会長 ほかにどうですか。

渡辺議員。

○渡辺議員 下の4行の中に「積極的な」が2回出てくる。こういう短い文章の中で2回同じ言葉を繰り返す。だから、積極的な住民説明会という、あいかわの聲では、町長自らが出席するという言葉になっているんです。そういう意味だと思うんです。そういう意味でしょう。同じことを繰り返さないで、町長自ら出席するという言葉に変えていただければ。

○井出会長 という意見が出ました。

阿部議員。

○阿部議員 非常に細かいところなんです。これ、2ブロック、2センテンスなんです。なので、ちょっと細断したいなという気持ちが僕にはあります。どこをするかというと、実は、上はこれまでのことなのでいいかなと。下のブロックを2つか3つに分けたいと私

は思っています。じゃ具体的に何かというと、下のブロック、「今後については」なんですけれども、これこのままで上の段落を受けて、さらっと流れちゃうような気がするの、例えば「今後」の前に「しかしながら」とか「ただし」をつけて、ここを強調したい。その今後については「変動することが予想されます」で1回丸をつけたい。「引き続き……図るため……行うなど」の後に、できればここでも1回切りたいですね。どこかって、「引き続き」の文から、「意見交換会を行うなど」の部分で1回切りたい気がします。もしつなげるのであれば「行うなど」、とにかくこの後の部分をもうちょっと強調するような句読点のつけ方にしたらどうかと思います。一個一個は別にいいんですけれども、もうちょっとブレスを短くして、一文一文を強調したほうがいいのか。ちょっとブレスが長い気がしました。そういう意味です。

以上です。

○井出会長 事務局、今の校正の仕方。

○阿部議員 すごい長くて、こうだ、こうだというふうに言っていたほうがいいのかなという気がします。

○井出会長 ほかにどうですか。熊坂議員。

○熊坂議員 こちらの見直し案なんですけれども、これあれなんですよね、表案を見ると、見直し案について調査を行うという形なんですよね。ですので、先ほど茅議員が言われたとおり、全体のやつではなくて、こちらの場合、拠点づくり事業基本計画の見直し案について調査という、見直し案はほとんどが半原水源地の跡地しかなかったんですね。

これ、多分町側も、最初の取っかかりが悪かったんですけれども、観光・産業連携拠点づくりというから、いろいろな各地があって、ただ町が言うのは、半原水源地跡地活性化計画とか、テーマを一つにしちゃったほうがいいと思うんですけれども、町としてそこを今後分けるべきなのか。拠点づくりだったら拠点づくりでつくって、半原水源地の跡地の活用、利用だったら、こっち側で、要するに2つで出していったほうがいいんじゃないかなと思うんです。

ただ、今後、実施計画とか出されたときに、また半原水源地だけの案を渡されたときには、議会としたらそこじゃないんだよというのを、観光拠点づくり事業と町が言うんだったら、やっぱりそういったいろいろな施設をやって、複合的にこの町を活性化させるということを議会からも言い続けなければいけないので、これを渡すときに、今回の見直し案は、半原水源地の活用しか出ていないんですけれども、今後実施計画とかをつくるのであれば、やはり全体の町の波及、一番下ですね、観光活性化という計画をぜひとも持ってきてくださいと。単発だけだったら、議会としたら、全然拠点づくり、観光・産業の連携になっていないよというのをちょっと一言、渡すときに言っていただければと思います。

もし半原水源地だけをやりたいんだったら、分けて、2班で、こっちの波及効果と半原水源地だけの計画というのを、そのほうがすっきりすると思うんです。

ちょっとそこら辺は、すみませんけれども、一言、これで行くんだったら、やっぱり波及した、いろいろな施設を複合化した計画実施案というのをぜひとも町としては考えて、我々にしていただければと思います。

ちょっとそこら辺、会長、すごいお願いするのは難しいとは思いますが、やっぱりこの名前の事業はそうなっているので、その点についてお願いしますということは一言言っていたきたいなというのがあります。

○井出会長 今、熊坂議員のおっしゃったことの内容からすると、このまとめ方が、本質的なところはもう一回考えなければいけなくなってくる可能性もあると思うんですね。

今回、見出しのところでも、中間報告についての検討会ということで特化しますので、そういう意味でこういう形になったんですけれども、それでもう一回全体的に立ってまとめろということになってくると、最終的な最後の部分で「町全体に波及する」という言葉のところで、ある程度、今回の目標とする、中間目的についての報告をして、なおかつ全体的なことも、波及するようなことをしてくださいよということで、もうちょっとニュアンス的に優しくしたんだだけでもね。

○熊坂議員 今、会長が言われたとおり、これは私もいいと思うんです、これは。です。で、今回見たのは中間報告なので、これでいいと思うんです。ただ、やっぱり渡すときに一言、文書にしないでいいと思いますので、ただ議会としたら、全体に波及するような計画案にしてくださいと、実施案にしてくださいということは一言、よろしければ言っていたければと思います。ただ、この案は私はこれでいいと思います。今回の趣旨は。

あくまでもこれはいいです。見直し案の中間報告なので。

○井出会長 今、出た案からすると、今は見直し案については、とりあえず承諾いただいて、そのほかにさらに町としての全体的な見直しというか、そういう基本計画についての要求を少し付け足して、それは口頭でも、文書でも。そういう意見が出ましたので。

木下議員。

○木下議員 中間報告に対しては、私も何の異議もないんですけれども、ただこの前も話が、町長が議会の同意が得られればみたいところをかなり強調しておられたので、それは多分この前のときは大筋では余り認められないという気持ちが皆さん強かったと思うんですね。だから、議会の同意があろうとなかろうと、町長がこれから町民に対しての説明というのですか、それは積極的に逆にやっていただいたほうが、もっと町全体にこういう話が伝わると私は思っているんですけれども、会長がお話ししていただければと思います。

○井出会長 山中議員。

○山中議員 まずちょっと確認したいんですけれども、これ意見書ということでもって町長に提出するということになるんでしょうけれども、これは議会の中の検討会ですから、これは住民の皆さんに対して、こういうものを出したよというような報告を例えば議会だよりでしようけれども、するんですよね、多分。決定するのはほかの委員会かもしれない

けれども、方法として、その辺の確認だけしたいんですが。

○馬場議長 今までもしているんでしょう。議会だよりもそうだし、ブログもそうだし。

○山中議員 分かりました。私もそうだろうと思っているんですよ。先ほど皆さんで議論している、私も了承なんですけれども、ただうちの会派の代表から話が出たし、今、木下さんから出たんですけれども、大筋ではどうなのという話が今ちょっと柔らかくしようよという、そういう話になっているじゃないですか。

町長がこれを見てどう思うかというのももちろんそうなんですけれども、住民がこの文書を見たときに、大筋合意したんだねというふうに誤解しないのかなというところが、ちょっと不安があることはあります。そこはちょっと微妙だなというふうに私は見えています。だから、こうしなさいというのがあるわけじゃないんですけども、今までの経緯の中で、少しずれがあったとすると、曖昧にすると分からなくなっちゃうことがないかなというのが少し心配なところ。

○馬場議長 今後合意形成を図るだからいいんじゃないの。

○山中議員 一応投げかけだけです。皆さんがオーケーだったら全然いいんですけども、今までのずれはどうかなというふうに思ったということだけです。

○井出会長 今、山中議員の……。

佐藤議員。

○佐藤（り）議員 そういう心配は私も感じました。全体的にはすごく文章的には、前半の部分と書いてはあるんですが、最初阿部議員がおっしゃったように、強調して、評価するけれども、しかしこうだよという、議会としての意見、それを積極的に前に出せば、また違ってくるのかなと思いますので、いいと思いますけれども、少し検討していただきたいなと思います。

○井出会長 玉利議員。

○玉利議員 ちょっと山中議員とかぶるところがあるんですけども、全体としては、私はこれでいいと思いますよ。ただ、今までなぜこんなに長引いたかということのをちょっと考慮すると、一例だけ挙げますと、今までも住民の説明会をやっているわけ、意見交換会をやって、そうすると実際に意見交換会かということ、住民の受け取り方は、半原の人までかかりませんけれども、受け取り方は、この案がいい案だからという、一生懸命説得しているという受け取り方をしているんですよ。もし本当に理解されるならば、俺たちの意見のここが取り入れられたんだとか、そういうことが分かるといいんですけども、案の説明ばかり、事業の説明ばかりに終始しているというのが実情なんです。だから、そういう誤解を招かないで、本当に聞いてくれるんだと思わせるためには、今のこの文章でいうと、「積極的な住民説明会の開催や」と書いてあるんですけども、この積極的という言葉は、むしろ後ろのほうに、「住民説明会の開催や積極的な意見交換会」に変えないと、あつまたただ説明するだけかというニュアンスになる。もっと言えば、逆に「積極的な意見

交換会」を前のほうにして、説明会のほうを後にするとか、要は自分たちの意見が取り入れられるんだとか、まだ変える余地があるんだとか、そういうものを強調した表現にするのも私は必要じゃないかと。この文章だと、説明が足りなかったのか、誤解を、それだけじゃ実はなかったんだよというので、順番がどうだろうかなというのは若干気になっているんです。感想としてね。

○井出会長 この案についての今の文章の中で、構成を変えれば、何とか。

○玉利議員 また案について説明会を始めても、説得する会みたいに、たたき台、これからまだ意見が入る余地があるんだということを見せないと、また同じことになっちゃう。前も似たことを言ったんですよ。住民が聞いたことに答えなくて、一生懸命説明するという場面が現実の説明会には多かったんですよ。

○井出会長 じゃこうしましょう。文章の校正は置いておいて、それ以前に、まず先ほど出た大筋合意という言葉、これを入れるのか入れないのかという部分が、何人かから大きな問題だと。これを入れるか入れないかで、随分また変わってきますので、ニュアンス的に。ここのところを議論をもう少ししてもらったほうがいいかなと。文章の校正については、この後でもいろいろできると思うので、その辺は皆さんの意識の中で、大筋合意を入れたほうがいいんじゃないかというような声が多いような気がしますので、逆にこの案でいいと言った方とすると、大筋合意が入っていないわけですから、食い違いがありますので、その部分をちょっと明確にしちゃったほうが話が持っていやすいかなと。

○井上副議長 僕は入れなくてもいいのかなと。今後について、先ほど阿部議員が言ったように強調するような手法で、それで整備手法や運営方法、施設整備費、維持管理経費など、ちょっと私どもの見解を載せましたけれども、不確定要素が多いことから入れれば、これは賛同をまだする判断には至らないということだなというふうには読めるのかなと。不確定要素があるよと。だから、大筋合意を判断するには至らないというようなこと。だから、そういう表現に変えることによってできるんじゃないかと。例えば一つの案。

○馬場議長 大筋合意は入れないけれども、それをにおわせるような。

○井出会長 熊坂議員。

○熊坂議員 先ほど井上副議長や阿部議員が言われたとおり、ちょっと案なんですけれども、「今後について」からなんですけれども、ここを、しかしながら、整備手法や運営方法により、整備費及び維持管理経費が大きく変動することが予想されることから、議会としては、今後、この点について注視しますとか、不確定要素があるために、議会として今後もこの件については積極的に対話するとか、そういう今会長が言われたのは、ちょっと柔らかい感じということなんですけれども、住民説明会をやらなくてもいいんですけれども、議会として、真ん中に、今後も積極的に対話をしていくとか、不確定要素があるので、その点について注視していくとか、監視、監視までいっちゃうと、議会がすごい上になっちゃうので、そういった今後についてから議会のところまでを、しかしながらとか、しか

しとか言って、否定する言葉にはなってしまうんですけども、今後も議会としては積極的に意見交換会を重視しているとか、そういったところを変えれば、上と下はいいと思いますので、上の段と、住民説明会のほうは。ですので、議会としてこうするよ、こう思っているよというのをに入れていただければいいんじゃないですかね。

○中山議会事務局長 すみません、今皆様の議論を聞いていて、ちょっと一つ案なんです、聞いていただけますでしょうか。

まず、前半の議会の声を真摯に受け止めたものと評価しますというところまでは同じで、その後、文章を区切って強調したほうがいいんじゃないかという意見がありまして、ちょっと変えて、しかし、今後における整備手法や運営方法により、施設整備費及び維持管理費が大きく変動することが予想されることから、次のことについて議会として要望します。1、引き続き議会との積極的な対話を望むとともに、議会、住民及び団体等との合意形成を図ること。2、住民説明会の開催や意見交換会等を行うなど、町全体へ波及する観光・産業活性化の拠点づくりに向けた取り組みを推進していくことというふうにしたら、積極的も外れますし、強調もできますし、大筋合意していないのも理解できますし、よろしいのではと思ひまして、いかがでしょうか。

○熊坂議員 今、言われたとおり前後はいいので、議会として、今後も投げかけますよという、そこはちょっと強く言ってもいいと思うんですよ。議会としてというのを入れれば、そこら辺を議長と正副と事務局で。

○井出会長 今の局長の例をあげていただいたけれども、分かりやすく、明確だなと。こちらの要望も一応明確になっているかなという感じはしました。文章で見えていないので、ちょっと聞いただけなので分からないんだけど。

○井上副議長 ちょっと局長、もう一回。

○熊坂議員 1と2だけでいいんじゃないですか。

○井上副議長 しかしから。

○中山議会事務局長 しかし、今後における、整備手法や運営方法により、施設整備費及び維持管理費が大きく変動することが予想されることから、議会として次のことについて要望しますというところで、ここは合意していないよというのが分かるんじゃないかと思ひます。

1、引き続き議会との積極的な対話を望むとともに、議会、住民及び団体等との合意形成を図ること。2、住民説明会の開催や意見交換会等を行うなど、町全体へ波及する観光産業活性化の拠点づくりに向けた取り組みを推進していくことというふうに、先ほど阿部議員が言われたように、長い文章を分けて強調するような形で変えてみたらいかがかなと思ひまして。

○井出会長 今ちょっと口頭ですけども、再度発表してもらいました。どうでしょうか。はっきりしたという感じがしますね。

○熊坂議員 これは最終日の終わった後に出されるんですよね。

○中山議会議務局長 この後決めていただきたいんですが、できれば24日に提出したいなと。

○井出会長 もう一回これをまとめさせていただいて、皆さんに配付させていただいて、それを見ていただいて、また何か御意見があれば、逆に会合を開いて意見を聞くか、さもないければ訂正だけして、24日提出することで認められるかと、この後もう一回決めますから。今のはとりあえず案で、ほかに何か意見ありますか。こうしたほうがいいというのは、玉利議員。

○玉利議員 ごめんなさい、案というほどではないんですけども、今の局長の話を伺っていると、ここを大きく、例えば後半だけを二分にただけでも、随分頭に入りやすく、分かりやすくなります。同じことが言えて、前半のほう、ピリオドが1個しかないんですよね。でも、中身的には、何々すること、何々すること、何々することと3つあるんですよね。だから、一つずつに、何々することを望みますとか、何々することを要望しますとかみたいに、3つに分ければ、かなり我々の議会の気持ちが伝わりやすくなるんじゃないかと。単なる手法の話なんですけれども。検討するときにピリオドが1つというのは、句読点だ。

○井出会長 前半部分は余り評価ということを大きく言い過ぎると、評価という言葉でもしかしたら引かかっちゃうような。

○馬場議長 これは我々の成果だから。

○井出会長 だから、そういう意味で、あまり前半部分は強調しなくてもいいような気もするんだけど、そんな気もしちゃうんですけども、自分の意見を言っちゃいけないんだけど。

今、玉利議員から、そういう前半部分をもう少し明確にしたほうがいいんじゃないかということも言われたんだけど。

○馬場議長 一回出してもらおうよ。最終日の全協か何かで、また示してもらって。

○井出会長 せっかく意見を言ってもらったけれども。

○玉利議員 単なる軽い希望ですから。

○井出会長 じゃ、先ほどの局長のほうから発表になったものをもう一回まとめてもらいますので、それを皆さんのほうに配付します。この後、どのようにしたいか。出た案について、もう一度、24日までに集まって議論をするか。

○馬場議長 この前だって、正副に一任したんじゃないの。

○熊坂議員 いただいて何かあったら、会派の代表から事務局に言ってもらう。

これ、できたのはいつ頃もらえるんですか。あさってが常任委員会で、全員来ますから。

○中山議会議務局長 その頃には。

○熊坂議員 できて、それを見て何かあったら代表に言うか事務局に言うか。

○井出会長　じゃ、とりあえずまとめてもらって。

この件については、まとまった時点で皆さんに配付をして、それについての意見は、会派代表がまとめてもらうか。

○中山議会事務局長　すみません、ちょっと確認なんですけれども、ここで12日に今の案でもう一度会派の代表にお示しして、そこで会派の意見がまた入ってくるわけですか。そうすると、そこでまた修正になる可能性があるということですよね。そうすると、もう一回集まっていただくのが24ということですか。そこで見ていただいて、また訂正があるという、なかなか提出するのができなくなるんじゃないか。

できれば、希望なんですけれども、前回の会議で皆さん議論していただいて、正副一任ということだったので、できれば本日大まかな、ちょっと修正で、認めていただければなんて思うんですけれども。

○井出会長　分かりました

○馬場会長　全てじゃないから、まだこれからもずっと会議はやっていくわけだからね。この会に残るわけだから。

○井出会長　じゃ、その辺はよろしいですか、今の案で。

（「はい」の声あり）

○井出会長　それでは、会長副会長に一任ということにさせていただきます。

じゃ、今日のとおりまとめさせていただきますので、よろしくお願いいたしますと思います。一応、日程的にこのようにまとめましたので、よろしくお願いいたしますと思います。

日程は以上のとおりですけれども、特にありましたら、またご発言を願いたいんですけれども、私のほうから、これからの検討会についてどうするか。今回この形でもってまとめます。それで、最終的に町長のほうに議長と副議長、副会長、局長を含めて5人で説明に行きますけれども、その後、この検討会、さっき議長がずっと続いていくとおっしゃっていましたが、逆に、中間報告後、また再度、定期的にこれを開催していくほうがいいのか、それとも次の町から出た案について、出た時点でもう一回開催すればいいのか、いろいろあると思うんです。定期的にやっていくのが本当にいいかどうかということを含めて、どんなふうで開催したらいいかというのは、皆さんからもしあればお聞きしたいなと思うんですけれども。

○井上副議長　これから住民説明会に入って、中間報告の計画についても当然何らかの対応はされるのかなと思います。そういうまた時点を踏まえて、動きがあれば、こちらからも、また町のほうからも、報告もあるでしょうし、それを受けてというような感じでいいんじゃないですかね。何もないときに定期的にやっても、議題がない中じゃね。

○馬場議長　この会を閉じちゃうと、またやらないと。だから、町側からのアクションがあったときに、あるからぱっと移れる。なくなっちゃ駄目なのよ。アクションがあったときに、また会長が集めればいいんだから。それでいいんじゃないの。

○熊坂議員 私も解散させるよりかは、置いておいたほうがいいと思います。また、これも広報広聴とかぶっちゃうんですけれども、一度産業拠点づくりで意見交換会、半原の地区町協さんとの拠点づくりについて意見交換会をしたりとか、この拠点づくり構想委員会で町民との意見交換会、これだけに対してというのもちょっとやっていただきたいというのが、これ、広報広聴かこっちか、どっちがやらなきゃいけないのかというのはあるんですけれども、ですので、私はとっておいて、残していただいたほうがいいと思います。ただ、ここの委員会ができるのかどうか分からないですけれども。

○井出会長 検討会が住民の意見を聞くということ。

○山中議員 関連すると思ったので、前も言ったことあるんですけれども、この検討会ができる前に、住民からの陳情が出ているんですよね。議会はいくまで議会、確かに行政に対するチェックというのものもあるかもしれないけれども、住民との対話はやっぱり大事なことであって、みんなで各種団体のとかというのがどうか僕はそれは分からない。ただ、あのときには机上配付にした。その机上配付にした一つの根拠が、こういう会をつかって、そこに来てもらう。そこで説明を、議会の皆さんにいろいろ言いたいんだという意見があったというふうに私は聞いているんですね。じゃ、そういう受け皿はどこにあるという話のときに、じゃこういうものをつかってやりましょうというのもあったと私は認識しています。だから、それはそのまま放置するのはちょっと筋として違うかなと思っていて、そういう場というのは必要なんじゃないかなと思うのね。

町長がどうだということだけのことではない、住民がどう考えるか。それは重要なことかなと思っているんです。

○井出会長 基本、広報広聴委員会がありますので、町民の意見を聞いてもらうのは、こちらのほうにさせていただいたほうがいいのかなという気がして、検討会まで町民の意見を聞いたら、とにかく、次に入るわけですから、それこそ検討会というよりか議会と町民との意見交換会みたいになっちゃいますので、どうなのかなと。

○馬場議長 見直し案がまだ住民に出ていない、そういう住民説明を町がやる前に我々がやるべきことじゃない。

○熊坂議員 おかしくないと思いますよ、意見を聞くんですから。

○井出会長 それは勝手に言っちゃいましたけれども、すみません。それはまた検討するとして、とりあえずこの検討会は終わらずに継続して開催をさせていただくと。その都度、必要なときに開催させていただくということでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○井出会長 そうしたら、こういうことで、次はいつになるかということとはまたこちらのほうから報告させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、日程調整は行いません。

以上で、終了ということで。

お諮りいたします。

それでは、特にご意見がないようですので、本検討会を閉会したいと思いますけれども、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○井出会長 ご異議ないものと認めます。

よって、本日の観光・産業連携拠点づくり事業議会検討会を閉会といたします。

大変お疲れさまでした。

午後 0時14分 閉会